

# 大田区自立支援協議会だより 第21号

令和4年2月発行



【編集・発行】大田区自立支援協議会  
【事務局】大田区立障がい者総合サポートセンター  
〔電話〕03-5728-9134 〔FAX〕03-5728-9136

## 今期の協議会活動について

令和3・4年度大田区自立支援協議会の1年目にあたる今期活動の中から、新たな取り組みについて二点ご報告します。

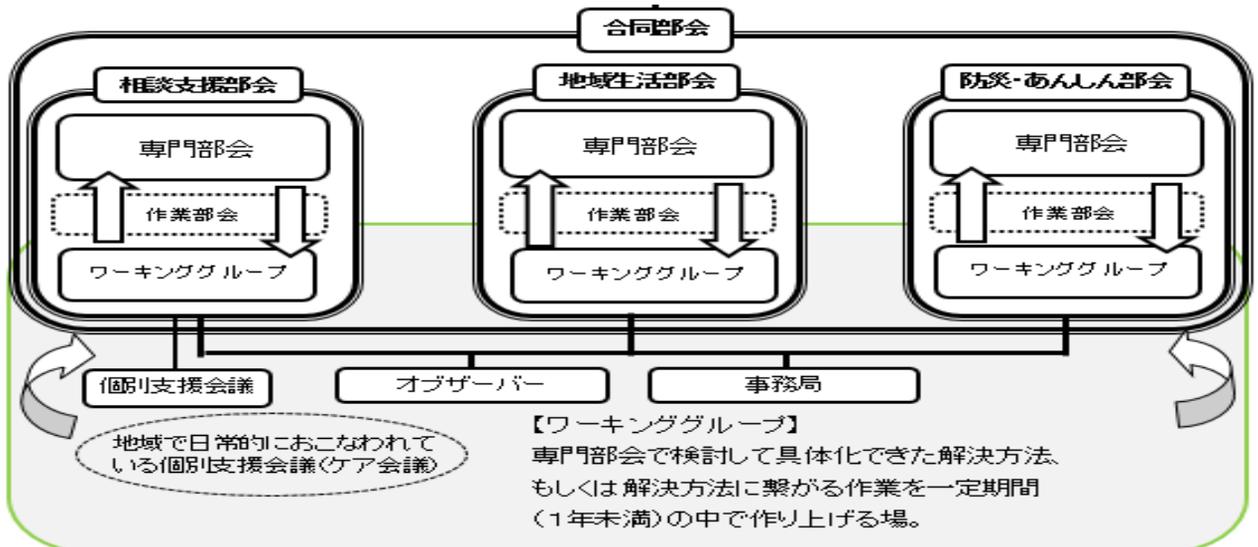
一つ目は、前年度の本会(書面開催)を経て、専門部会のみ委員の任期が2年になりました。これにより協議会に関わる全ての委員が、共通認識の下に本格的な活動をスタートすることが可能になりました。

二つ目は、課題先行型の協議会運営へのシフトチェンジです。従来は協議会委員と専門部会のみ委員が選出された後、各専門部会の活動が始まりました。所属する様々な立場から意見交換をし、得た知見を蓄積する利点がありました。その一方で課題が細分化するあまり、協議会の目的である地域課題を具体的に検討するための時間が不足することがありました。そこで今年度は、最初に協議会委員を中心に専門部会で取り扱うテーマや方向性を議論し、実情に即したメンバーが集まることで、すぐに具体的な検討に入ることのできる体制を整えました。

2年の期間を有効に使い、誰にとっても住みやすい大田区になるよう、地域の課題についての検討を協議会全体で推し進めていきます。

大田区自立支援協議会副会長 山根 聖子

大田区自立支援協議会組織図



「大田区自立支援協議会」は、障がい児・者の地域での自立した生活を支援するため、障がいのある方や障がい福祉に係わる様々な分野の関係者が参加して定期的な協議を行い、地域での課題について情報を共有し、連携を取りながら具体的な検討を行うことを目的として区が設置しています。





# 各専門部会から



## 相談支援部会

相談支援部会では、相談支援から見えてくる「地域の課題」に着目しています。人の生活において何らかの課題が生じたとき、それは福祉、医療、介護、看護、教育...といった分野に必ずしも分類されるとは限らず、複雑に絡みあっていることもあるでしょう。協議会として「大田区の障がい者福祉における課題」を見つつ、今期は「医療とのよりよい連携」について考えています。様々な業務、立場の方が部会委員としてパワフルに議論を交わしています。

相談支援部会長 神作 彩子

【今期テーマ】  
大田区のしくみについて学ぶ

## 防災・あんしん部会

今年度は後半からの活動となりました。メンバーも入れ替わったことから、あらためて災害対策と差別解消に関する区の実践について、オブザーバーからお話を伺い意見交換させていただきました。それをもとに次年度は関わるみなさまと意見交換や交流のできる場面づくりを企画していきたいと考えています。

これまで継続してきた事柄に重ね、『協働』の意識をもって具体的な動きにつなげたいと考えます。

みなさまからのご意見も大歓迎です！

防災・あんしん部会長 志村 陽子



【今期テーマ】

- ①個別支援会議から地域課題の抽出・検討
- ②大田区相談支援体制の検証・検討

【今期テーマ】  
希望する暮らしの実現

## 地域生活部会

今年度の地域生活部会は、昨年度までの部会の動きを振り返る中で、「地域生活」という部会名に立ち返り「希望する暮らし」をテーマに設けました。そして、個々の障がい特性からみるのではなく、障がいがある方の地域生活の共通課題を抽出することで、全ての障がいのある方が大田区で暮らすうえでの生活を考える機会を設けることにしました。

部会長としては、様々な方の視点を取り入れながら、来年度まで邁進していきたいと思っています。宜しくお願いいたします。

地域生活部会長 伊藤 朋春



## 大田区自立支援協議会 本会開催のお知らせ

☆開催日時

令和4年3月14日(月)

14:00~16:00

☆開催場所

大田区立障がい者総合サポートセンター  
5階多目的室

(※新型コロナウイルス感染拡大予防の観点から傍聴席は設けず開催します)